

特集

収支マネジメントにつよくなる

立ち上げたステーションや事業所で、働くスタッフの1人ひとりが能力を発揮し、気持ちよくケアが実践できるようにしたい。上手に収支バランスをとりながら、設備も、待遇もアップしていきたい。シニアビジネスに多くの起業家が参入するなか、訪問看護・介護の専門職がいかにしたら収支マネジメントにつよくなれるかを考えます。

在宅をめぐるさまざまな事業展開と収支バランス 井村健司
 住み慣れた地域で暮らしたい——あたりまえの願いを実現するための支援を
 展開して 種村裕子
 在宅療養支援診療所の現況報告——豊かな看取りの実現 苛原実
 難病看護に特化した訪問看護の可能性 山崎京子

■特別記事

変わっていく介護保険制度と市民の意識 酒井由紀子
 在宅末期がん患者に対する医療行為・2——疼痛緩和に関する事前約束指示 川越厚

■研究報告

在宅におけるがん末期患者との関わり方の模索 小松山美子
 病院退院後に義足作成に挑戦し、歩行を再獲得した一症例 大西敦志ほか

■連載

マグネットステーションインタビュー 木村憲洋／訪問看護時事刻々 石田昌宏／もの忘れを補うモノたち—簡単な道具と機器を利用した認知症患者の日常生活支援 安田清／大牟田発！地域の縁側で認知症ケア 牧坂秀敏／わたしのことをわたしから 鈴木小百合／在宅で療養するがん患者と家族のためのケアの手引き 福井小紀子／ほんとの出会い 岡田真紀／訪問看護ステーションの現場をあるく 川越博美ほか／萌黄色のハンカチーフ 赤川次郎

編集
後記

●今号より2本の新連載が始まりました。「マグネットステーションインタビュー」と「訪問看護ステーションの現場をあるく」。前者は利用者だけでなく職員をも惹きつけて放さない“マグネットステーション”を取り上げ、その所長の魅力に迫ります。後者は川越博美先生と宮崎和加子氏による訪問看護ステーションの訪問記です。全国津々浦々巡るご予定とのことで、今回の舞台は北海道。どちらも今後にご期待ください。……………富岡
 ●看護教育に「在宅看護論」が科目立てされたのは1997年4月の入学生から。当時、新カリキュラムの公表から導入まで1年しかなく、看護教員は夏休みを返上して自校のシラバスをつくり、翌年4月の実施を迎えるというスケジュールでした。教員のがんばりは、本号の新連載に登場する訪問看護師のバイタリティと通じるものがあつたように思います。いっそう重きを置かれた「在宅看護論」をきっかけに、看護にかかわるすべての人に訪問看護ステーションの存在、頼りになる訪問看護師の技量を知ってもらいたいです。……………伊藤

訪問看護と介護 第13巻 第1号 2008年1月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2007, Printed in Japan
 1部定価1,260円(本体1,200円+税5%) 年ぎめ予約購読料13,200円(年間12冊, 消費税, 送料弊社負担)

発行:株式会社 医学書院/代表者:金原 優/販売部:03-3817-5657/社内案内:03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室:直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当:富岡・伊藤・早田

Eメール houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL http://www.igaku-shoin.co.jp

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本紙の無断複写は著作権法上での例外を除き禁止されています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0917-1355/05/¥250/論文JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。